

安心して救急医療を受診するために…

急な病気やケガをしたとき、誰もがつい慌ててしまいがちですが、普段からそのような急な事態に備えておくことが大切です。そこでみなさんに、**次の4つを普段から心掛けていただく事をお願いします。**日頃から救急医療の正しい知識を身に付け、救急車や救急医療を上手に利用しましょう。



4つの
心掛けを
お願いします。

1 「かかりつけ医」をもちましょう

- 「かかりつけ医」とは、病気になったときの初期の医療や日頃の健康に不安を感じたときに相談できる身近な診療所などの医師のことです。
- 急な病気やケガに備え、**自宅の近くの「かかりつけ医」を探しておきましょう。**
- 体の不調を感じたときは、早めに「かかりつけ医」に相談し、適切なアドバイスを受けましょう。
- 必要なときは、適切な病院を紹介してもらうこともできます。

2 できるだけ昼間の診療時間内に受診しましょう

- 救急医療機関を「夜間すいているから」「昼間は仕事があるから」などの理由で、あえて夜間や休日に利用する人がいます。このため、救急外来が混み合い、本当に治療が必要な患者への対応が十分にできなくなる恐れがあります。**便利な時間外の医療機関ではありませんので、救急時以外に受診することは避けましょう。**
- 救急医療は救急事態に備えるためのもので、本来の診療時間とは異なり、少人数の診療体制となっています。そのため、専門的な診療が受けられないことが多くあります。
- より充実した診療を受けるには、昼間の診療時間に受診することが一番です。

3 夜間の急な病気は、まず夜間急患診療所へ

- 比較的症状が軽い場合は、まず**「那須地区夜間急患診療所」**を受診してください。
- 夜間急患診療所では、薬は原則1日分に限って処方されるなど、応急的な処置に限られます。**翌日には必ず診療時間内に、かかりつけ医を受診しましょう。**

4 救急車が本当に必要なのかよく考えて利用しましょう

- 緊急性がない救急車の利用が多くなると、本当に救急車が必要な人へ速やかに救急車を出動させることができなくなります。**本当に必要とする人のために、救急車を適正に利用しましょう。**

とちまる救急安心電話相談

子ども(概ね15歳未満)

電話: # 8000 または ☎028-623-3511

大人(概ね15歳以上)

電話: # 7119 または ☎028-623-3344

※詳細は裏面をご覧ください。

- 緊急性がない場合は、自家用車や公共交通機関等を利用してください。
- 緊急性があり、本当に必要なときは、119番通報して救急車を呼んでください。